加速化過酸化水素とは？

【AHP】とは

AHP とは、加速化過酸化水素のことで、英語では Accelerated Hydrogen Peroxide と記します。
この頭文字をとり、AHP と呼ばれています。
AHP は、Virox 社が保有する特許で守られた技術により製造され、世界的には以下のロゴで知られています。

AHP は医療分野（医歯獣）や食品衛生管理分野、さまざまな施設の衛生管理などに幅広く使用されており、“アクセル”という高レベル洗浄消毒剤として世界中で使用されています。

【AHP】の成分は

AHP は、低濃度の過酸化水素の洗浄・消毒能を劇的に向上させる成分（一般的に使用されており安全な物質）と過酸化水素を適切な割合でブレンドされています。これは特許で守られた技術です。
AHP は過酸化水素・界面活性剤・湿潤剤（液体の表面張力を減少させてより広がりやすく、浸透しやすくするために配合）、キレート剤（水に含まれる金属やミネラルを減らすために配合）よりできており、これら配合物はすべて EPA（アメリカ合衆国環境保護庁）、カナダ保健省、FDA により安全性が公表されています。

【AHP】の効果と信頼性

加速化過酸化水素 AHP は、市場において、最も効果的で最も安全にご使用いただける除菌製品の一つとして有名です。大半の除菌技術と異なり、AHP は突出した殺ウィルス作用を持つだけでなく、非常に優れた洗剤でもあります。AHP ベースの製品は、エンベロープを持つウィルス（A 型インフルエンザ等の簡単に死滅させることができるウィルス）とエンベロープを持たないウィルス（ポリオウィルス、ノロウィルス、パルポウィルス，ライノウィルス、ロタウィルス等の死滅させるのが難しいウィルス）の両方に対して死滅消毒の役割を果たします。
殺ウィルスのボーダーラインは、ポリオウィルスを死滅させるかでエビデンスが立証される。
AHP 製品の殺ウィルス作用の範囲（30 秒～3 分）は、ウィルス発生時に、使い心地が良く、確かな効果が期待できるという追加的なレベルまで達しています。
広域スペクトル消毒 30 秒で 3 ログ･リダクション（99.9%）／ウイルス・TB サイダル 3 分で 6 ログ・リダクション（99.9999%）

【AHP】のカナダにおける信頼性

ウィルスによるアウトブレイクに対応するためには、豚インフルエンザ H1N1 ウィルスやそのウィルス株のような比較的よく知られていないウィルスが発生し、取り扱う場合、確かな効果があるということが鍵です。AHP の卓越した殺ウィルス効果は評価され、その結果、2003 年初めに広く取りざたされた SARS の蔓延の際、カナダオンタリオ州にある全ての大型医療施設において、表面の清掃及び除菌用として推奨されました。SARS は、その当時はよく知られていないウィルスだったため、蔓延防止のため、最も強い殺ウィルス作用を持つ製品を使用することが何よりも重要と考えられていました。AHP は使用者と患者の安全を考慮しつつも効果の即効性というバランスのとれた、唯一無二の特徴を持っていたため、選ばれました。

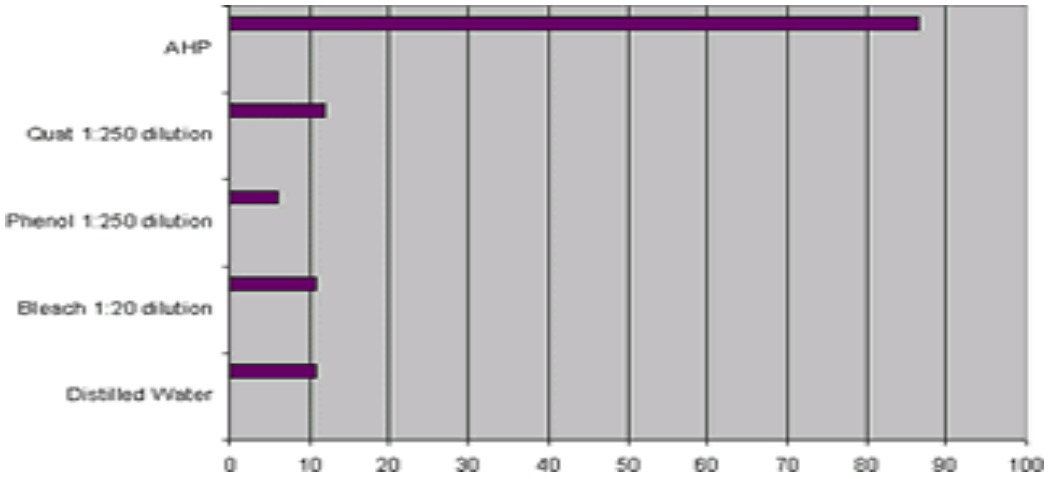
AHP を希釈して使用した場合、非毒性で皮膚や眼に刺激を起こさず、揮発性有機化合物を含まず、使用者に非常に優しく、環境を考慮した香りと着色料を使用しています。

【AHP】の洗浄効果

添付のグラフが示すように、塩素（漂白剤）、フェノール類、第四級アンモニウム化合物及び水を含む一般的な消毒製品は、表面に有機物の 12～16%除去する。これらの材料を使用してきれいにすると、実際にそれを再乾燥は、有機材料の層を作成する表面上に再配布されて溶液中に汚れのほとんどを入れている。優れた殺菌剤であることに加えて AHP にも優れクリーナーです。

洗浄効率のためにカナダ規格ボードテスト CGSB 2.16 から 78 を使用して、AHP の使用中の希釈（1:16）86.5 パーセントの結果

カナダ規格ボードテスト CGSB 2.16 から 87 クリーニング効力結果パラメータ：70%の洗浄効率は政府検査基準あたり許容できると考えられます。



【AHP】で使用することができる素材

AHP は、すべての表面に使用することができます。

黄銅または銅または他の非鉄金属から構成されている面が変色の兆候を示すことがある。

【AHP】と過酸化水素の違い　・AHP と薬局で買う過酸化水素水とは何が違の

薬局で売っている過酸化水素水は水で希釈してあり 3%です。
科学者達は、長年過酸化水素水に適切に“何か”を配合する方法を長年研究し続け、AHP として効果的な商品を作りあげました。
AHP は、過酸化水素、界面活性剤、3%過酸化水素水よりも清掃効果と消毒能を向上させる非活性成分より構成されています。一般的に環境表面に使用する AHP に含まれる活性成分は、たったの 0.5%です（過酸化水素濃度は薬局で売られているものと比較し非常に低濃度ですが、洗浄・消毒効果は大幅に向上しています）。

【AHP】と第 4 級アンモニウム塩・アルコール

死滅させるのが困難なエンベロープを持たないウィルスに対しては効果を持ちません。
第 4 級アンモニウム塩ベースの製品は、表面上の残留有効成分の化学的性質を残して、長年の使用後は、かなりのフィルム層が蓄積されます。さらに、第 4 級アンモニウム塩やアルコールの場合は、表面に再び汚れ&有機物をクリーニング中に再配布されます。
AHP の洗浄特性は、表面に残されている汚れや残留化学物質の層をストリップ（剥離）します。
この際、長年の、第 4 級アンモニウム塩やアルコールのフィルムが空気にさらされてカビ臭のような臭気が発生されます。
蓄積されたフィルムが消えるまで臭気は、AHP の使用で 5～10 日かかる場合があります。

【AHP】製品の香りと色　1

環境に対する影響を考慮し、AHP に色と臭いは付加していません。
AHP は揮発性有機化合物を含んでおりません。殆どの香料は一般的に揮発性有機化合物に分類されます。
そのため環境に対する影響を考慮し AHP には添加しておらず、さらに人体に対する安全性の向上にも寄与しています。

【AHP】製品の香りと色　2

市場で販売されている多くの洗浄・消毒薬は、シトラスやライムなどの香りがつけられていますが、なぜ御社の製品にはないのですか？
無香料製品である理由は、臭いをカバーしてしまうことを避けるためです。多くの場合、洗浄剤や消毒薬の臭いは、化学物質の臭いや部屋内枝施設の臭いを隠す効果があります。適切な衛生状態の環境には、臭いの原因となる物質が存在しないため臭いはありません。
AHP で洗浄・消毒を行うと清潔度が誤魔化されるような香料の香りはありませんので、適切な
洗浄・消毒を行うことにより室内や施設は最終的に臭いのない空間となるのです。
洗浄剤や消毒薬によく含まれている揮発性有機化合物の香りを付加することは、嗅覚過敏症の原因となったり、室内の空気を汚染することにも繋がります。無香料の製品を作る事によりエンドユーザーからの否定的な反応はほとんどなく、AHP を導入している施設利用者からの不満もほぼありません。
労働衛生・安全の観点からこのような製品を使用することを推奨します。

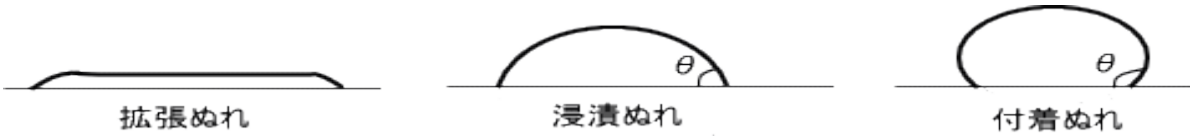
国内における質問

◆　**いままでアルコール使用による手荒れで指紋がなくなってしまっていたが、アクセルワイプを使用する様になって手荒れがなくなり、指紋が復活してきた。しかし、使用後の流水での手洗いで滑りが取れない。ここまで取れないのは、何か原因があるのではなか？**

1.AHP にて皮膚下部の酸素が上がってきてヌメリがでる

2.AHP は、表面張力がないがないため、水の分子がお互いにくっつきあうことで生じた表面張力が、AHP が邪魔します、水とくっつきにくい部分で他の水分子が接近するのを妨げ、ヌメリがでます
（石鹸と流水で手洗いをするのと同じ作用）

表面張力の接触角が 0°　＜θ≦90°のときは浸漬ぬれ　90°＜θのときは付着ぬれ



AHP は、表面張力が低いので拡張ぬれとなる／水は、表面張力が大きい為、付着ぬれとなる。

◆　**洗浄において有機物がペーパーに付着するのか？ペーパーは特殊なものか？**

ワイプが凹凸になっているために、汚れがワイプに吸着する
「メルトブローンファブリックという特殊ペーパー」を使用している
洗浄効率のためにカナダ規格ボードテスト CGSB 2.16 にて 86.5%洗浄効果
カナダ規格ボードテスト CGSB 2.16 から 87 クリーニング効力結果パラメータ
70%の洗浄効率は政府検査基準あたり許容できると考えられます。

◆　**万が一眼内に入ってしまった場合、角膜に対する影響はどの程度なのでしょうか？**

眼内の Ph が下がるがワイプにおいての成分量では問題ない
原液（AHP6%）が希釈時に眼内に入ってしまったら、念の為、流水で洗い流すのが良い

◆　**ハイブロックスアクセルとの大きな違い？**

過酸化水素の成分が違う、大きな違いは、接触時間
ハイブロックスアクセル　5log　乾燥 3 分／接触時間 5 分　　3log　接触時間 1 分
アクセルプリベンション　5log　乾燥 3 分／接触時間 3 分　　3log　接触時間 30 秒
従って、医療に要求されるのは、5log である為、ハイブロックアクセルは清掃会社用